

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教△△分教会長 慎んで申し上げます

“この道はどふゆう事に思ふかな この世治める真実の道”
と仰せ下さいましたが 私達は早くから教祖の道具衆としてお引き寄せ頂き 洵に感謝の念に堪えません その中にも今日の日吉き日はこれの△△△△の月次祭の日柄に当たりますので 只今から一手一つに明るくたすけづとめを勤めさせて頂きます

さて去る御本部の秋季大祭に於いて 真柱様は“『諭達第一号』を發布して以来早や三年が経ちましたが この三年の間に二十世紀から二十一世紀に入り 戦争の世紀は終わったと云われる一方で 先頃は早くも極めて不安な事件が起こり 一列兄弟姉妹とお聞かせ頂く 人間同士が激しく戦い傷つけ合う姿が 今も尚世界の各地で絶えない事は誠に痛ましい限りであり 親神様もさぞかしお心を痛めて下されていること、拝察致します”と仰せられました

“はやばやと心そろをてしつかりとつとめするなら世界をさまる”
のお言葉を改めて強く噛みしめ 一層真実を込めて日々 月々のおつとめ 同時にをやの思いを世界に伝える努力を一手一つにせねばならないと自覚致しております

私達は教祖直々に夫婦のあり方 親子の間柄 人々との接し方など 陽気ぐらしの世界の基礎とも云うべき人間関係のあり方を懇切にお教え頂きましたが 徒らに疲れ 迷い悩む世の人々に 真実のをやの声を伝え たすけの手を伸ばすべき 私達の責務 急務を心に強く抱きしめ 今後は一層真実を傾けて参りますが どうか思し召し通りの陽気ぐらしの輪が 更に広く大きく拡がって参りますよう お導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます